



うめがおか

考える子 元気な子 助け合う子

世帯数配布
美浜町立河和小学校
令和6年11月26日

心の栄養～語り合おう～

1年生の教室に「ずるい？ずるくない？～どっちがいいかな～」と題した掲示がありました。ずるい？ずるくない？は、道徳の時間の内容です。がんこちゃん、バンバン、ピロくんが、台を一つずつ置いてホメホメの実を取ることになりますが、背の高さが違うため、ピロくんは実が届きません。そこで台を背の高さに合わせ、がんこちゃんは一つ、バンバンは二つ、ピロくんは三つ置くことで手が届く位置を同じにします。台を3人同じにせず、背の高さによって変えることはずるい？ずるくない？の問いです。

ところで、「ずるい」という言葉を子どもたちから聞くことがあります。「ずるい」は、辞書には「公正でないことをする卑怯な性質のこと」と載っています。が、子ども



たちが使う「ずるい」は、辞書の定義より広義で、「自分が損をしたくない」「できればちょっと得をしたい」という思いがあるそうです。自分が得をするのは嬉しいし、損をするのは避けたいと思うのはごく自然なことで、特に小さい子どもの「ずるい」は自然な心理でもあるのだそうです。また、一口に「ずるい」と言ってもその心理は様々なのだそうです。大切なのは、その状況について、子どもの気持ちを聞き、語り合うことではないでしょうか。1年生は、道徳の時間に語り合い、それぞれが納得できる答えを出すことができました。



また、ある日、4年生の教室に入ると、言葉について語り合っていました。なくしたい言葉である「死ね」「ウザい」「消えろ」についてです。これらの言葉を軽い気持ちで使っていることがあるからです。そこで、どんな気持ちで使っているかを考え、言葉の言い換えをすることにしました。「今は話しかけないで」、「やめて」、「ちょっと離れていてほしい」などの言い換えの言葉が出てきました。言葉を発する前に、深呼吸すると良いという意見も出ました。

語り合うと良いアイデアが出ます。心に栄養が吸収されるのです。冒頭の掲示の見出しは、「どうとく ころのえいよう」でした。心に栄養を蓄え、温かい言葉でコミュニケーションができることを願っています。ぜひ、ご家庭においても話題にさせていただけると幸いです。

校長 山中 信子

1月の行事予定			掃除
1	水	元日	
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月	仕事始め	
7	火	始業式 大掃除 通学団会	○
8	水	5時間授業 給食開始日	○
9	木	口座振替日	○
10	金		○
11	土		
12	日		
13	月	成人の日	
14	火	月曜日課 5時間授業 ⑥委員会(5・6年)	○
15	水		○
16	木		○
17	金		○
18	土		
19	日		
20	月		/
21	火	5時間授業	/
22	水	②③学校公開	○
23	木	②③学校公開	○
24	金	②③学校公開 河和中入学説明会(6年)	○
25	土		
26	日		
27	月	オンライン朝会 ⑥クラブ(4・5・6年)	/
28	火		○
29	水		○
30	木	代表委員会	○
31	金		○

今後の状況により変更することがあります

陸上競技大会

10月24日(木)に「令和6年度美浜町小学校陸上競技大会」が美浜運動公園陸上競技場で開催され、下記の成果を上げることができました。「男子4×100mリレー」の56.80秒は昨年度の河和小チームの大会新記録(58.25秒)を上まわり、2年連続で新記録を更新することができました。また、「5年以下走り幅跳び」の4m40cmも大会新記録となりました。

陸上部のみなさんには、部員として練習に参加したことや大会での成果に自信をもち、今後の生活や学習の糧にできる姿を期待したいものです。



5年以下100m走	1位	5年	鈴木 俊太	2位	5年	梶間 ありす
100m走	1位	6年	西尾 天良	2位	6年	森田 蘭
50mハードル走	2位	6年	磯貝 星空	3位	6年	原 海鈴
5年以下走り幅跳び	1位	5年	飯田 旭飛	1位	5年	山下 野乃香
走り幅跳び	2位	6年	齊藤 玲乃	1位	6年	竹内 来愛
5年以下ソフトボール投げ	1位	5年	高須 剛輝	1位	5年	山本 侑依
4×100mリレー	1位	5年	鈴木 俊太	1位	5年	梶間 ありす
		5年	齋藤 芳樹		6年	相川 夏帆
		6年	荒井 翔太		6年	森田 蘭
		6年	西尾 天良		6年	竹内 来愛
オープン100m走	1位	6年	磯部 祐心	3位	6年	樋口 絢音
	2位	6年	種田 柚希			
オープン50mハードル走	2位	6年	榊原 彰馬	2位	6年	山田 椿

シンガポール ベドック・グリーン小学校

10月29日(火)にシンガポールからベドック・グリーン小学校の児童16名(男子10名、女子6名)と先生4名が来校し、交流授業をしました。ベドック・グリーン小学校の16名が5年生ということもあり、5年生の1組は5名、2組は5名、3組は6名に分かれて交流授業を行いました。9時15分頃に来校し5年生各学級の代表が控え室の会議室に迎えに行くことから始まりました。「Let's go together!」「Please come with me!」など、外国語活動での英語学習を生かしてコミュニケーションをはかり、各学級に案内しました。

5年生の各学級が、「習字体験」「お茶体験」「日本の遊び体験」の授業を1時間ごとに入れ替わって行いました。各学級の一員となったベドックグリーン小学校の児童は、「習字体験」では、毛筆で「桜」「和」「日本」などの漢字や「自分の名前」をカタカナで扇子に書きました(5年生の児童は、半紙を使って筆の使い方や点画の書き方を伝えました)。「お茶体験」では煎茶を急須で淹れて和菓子と一緒に味わいました(5年生の児童は、家庭科で学んだ「急須や湯飲みを使い、お茶を楽しむマナー」を伝えていました)。「日本の遊び体験」では長縄跳びやドッジボールなど河和小学校の児童が放課や学級レクリエーションなどで行う遊びをしました(5年生の児童は、声を合わせて長縄を飛ばすタイミングを伝たり、声援を送ったりしました)。

シンガポールでは、英語、中国語、マレー語、タミル語の4つの言語を使います。今回の交流では、国風や言語の大切さと言葉を越えたコミュニケーションのよさを実感することができました。



学習発表会

1、2、5年生は11月14日(木)、3、4、6年生は11月15日(金)に学習発表会を開催しました。

1年生は、小学生として初めての学習発表会でした。国語「おおきなかぶ」の音読、音楽の鍵盤ハーモニカや打楽器による器楽合奏、体育のマット運動や跳び箱の演技を披露しました。2年生は、国語「スイミー」の音読劇や算数「九九」の暗唱、音楽「こぎつね」の合奏「上を向いて歩こう」「元気100%」の斉唱などが発表されました。

3年生は、美浜町の店舗や企業、仏閣などの見学を生かして、地域産業の特色や歴史について、「美浜博士になろう」をテーマに発表しました。各班でタブレットの機能を駆使し、文字や写真のレイアウトを工夫した説明スライドを作り、「美浜町」について理解を深める内容でした。4年生は将来の職業、パラリンピックスポーツ、福祉、都道府県の特徴など、学習した内容を「みんなの宝物」として捉えて、一人一人が自分のテーマをもってプレゼンテーションにまとめ、発表しました。

5年生は「食」について「食品ロス」「食糧自給率」「農業・漁業・畜産業」をテーマに、体育館を3つのブースに分けての発表でした。調べた内容を実証する器具やパンフレットを作ったり、各ブースの児童が考えた方策や対応策などを画像で提示したりするなど、発表児童と参観者との身近さを生かした発表となりました。6年生は学年合同で「煌めく北極星の発表会」と題して行いました。「明日を信じて」「翼をください」の合唱、「バッハベルのカノン」のリコーダー演奏と続き、参観者の方へ演奏に対する感想をインタビューしました。最後は、1組が高音部、2組が低音部を担当した合唱曲「Believe」で今年の学習発表会は幕を閉じました。



